

新奈良県総合医療センター造成工事(二次造成工事2工区) 落札者決定基準

工 事 名：新奈良県総合医療センター造成工事(二次造成工事2工区)

工事番号：第H28-1号

工事場所：奈良市六条西四丁目、七条西町二丁目 地内

■落札者決定基準【簡易型①(一般土木等)】

奈良県立病院機構

分類		評価(審査)項目	評価(審査)内容	評価(審査)基準	配 点		
技術 提案書 (注10)	施工計画	③安全管理 (注1)	現地条件等を踏まえ安全管理上の課題への対応の適切性(評価項目に付き最大2提案までとし、3提案以上記入があった場合は、当該項目の全ての提案を評価対象外とする)	a. 現地条件等を踏まえ安全管理が的確に図られ、優れた工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	3点/1提案	左記得点の合計点 Max 6	
				b. 現地条件等を踏まえ安全管理が的確に図られ、工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	1.5点/1提案		
				c. 現地条件等を踏まえ安全管理が的確に図られているが、上記a、bに該当しない	0		
		④施工管理 (注1)	施工上留意すべき事項の適切性(評価項目に付き最大2提案までとし、3提案以上記入があった場合は、当該項目の全ての提案を評価対象外とする)	a. 施工管理方法が適切であり、優れた工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	3点/1提案	左記得点の合計点 Max 6	
				b. 施工管理方法が適切であり、工夫かつその具体的な根拠及び効果が見られる	1.5点/1提案		
				c. 施工管理方法が適切であるが、上記a、bに該当しない	0		
	企業の実績	工事成績評定点 (JVは全構成会社別に採点し、出資比率による加重平均とする) (注6)	過去5年間に元請(JVの構成員として請負った工事を含む)として完成・引渡が完了した、奈良県県土マネジメント部発注の「予定価格が5千万円以上の一般土木工事等」の工事成績評定点の平均値(過去5ヶ年度の全件数の平均値) (注2)(注3)(注4)(注5)(注11)	a. 65点以上	(工事成績評定点の平均値 -65)×0.1 Max2.5		
				b. 60点以上 65点未満	(工事成績評定点の平均値 -65)×0.4		
				c. 60点未満	-3		
		表彰(JVは全構成会社別に採点し、出資比率による加重平均とする) (注6)	過去5年間における奈良県の一般土木工事等に対する表彰 (注2)(注5)	a. 下記の表彰がある(各表彰の工事1件当たり0.5点とする) ○奈良県の表彰 ・優良工事等施工者(工事請負業者)表彰(県土マネジメント部長、土木事務所長等) ※・表彰がある場合は、その内容を様式10に記載するものとする	Max 1		
				b. 上記aに該当しない	0		
				c. 上記a、bに該当しない	0		
		ISO9000シリーズ、14000シリーズ認証取得(JVは全構成会社別に採点し、出資比率による加重平均とする) (注6)		a. 本社、工場等、当該工事関係部署がISO9000シリーズかつISO14000シリーズ認証を取得している	1		
				b. 本社、工場等、当該工事関係部署がISO9000シリーズ又はISO14000シリーズ認証を取得している	0.5		
				c. 上記a、bに該当しない	0		
		工 実 績 等	配置予定技術者の実績 (JVは代表者のみ採点する)又は専任補助者(現場代理人)の実績	過去15年間の元請(JVの構成員として請負った工事を含む)として完成・引渡が完了した受注価格が2千5百万円以上の同種工事についての主任技術者・監理技術者・現場代理人としての施工経験 (注2)(注7)(注8)	a. 主任技術者・監理技術者として国、又は奈良県が発注した同種工事の完成・引渡が完了した	2	
					b. 主任技術者・監理技術者として特殊法人等、公共法人、又は地方公共団体(奈良県を除く)が発注した同種工事の完成・引渡が完了した	1	
					c. 現場代理人(現場代理人で配置されたときに既に同種工事の監理技術者の資格を有していた者に限る)として国、特殊法人等、公共法人、又は地方公共団体(奈良県を含む)が発注した同種工事の完成・引渡が完了した ただし、配置期間は工期全体の1/2以上とする	1	
					d. 上記a、b、cに該当しない	0	
			地域精通度(JVは全構成会社別に採点し、出資比率による加重平均とする)(注6)	本店の所在地 (注12)	a. 工事実施市町村に本店がある	2.5	
	b. 工事実施市町村を管轄する土木事務所管内に本店がある				1.5		
	c. 上記a、bに該当しない				0		
	社会・地域貢献(JVは全構成会社別に採点し、出資比率による加重平均とする) (注6)				災害協定の締結	a. 国土交通省近畿地方整備局、又は奈良県と、災害協定を締結していることが確認できる	1
		b. 上記aに該当しない	0				
	加 算 点 合 計 (注9)					22点満点	

(注1) 施工計画の記載内容が適正でない(未記載を含む)場合、提案を求めている事項が1つでも欠落している場合、本工事の施工条件(工種、工法、地形、地名 等)に合致していない内容が含まれている場合は欠格とし、入札参加を認めないものとする。

(注2) 過去5年間とは、工事成績評定点にあつては平成22年4月1日～平成27年3月31日とする。また、表彰にあつては平成22年4月1日～平成27年3月31日までに完成・引渡が完了した工事、公告日の前日までに表彰を受けたものに限るものとする。
過去15年間とは、平成12年4月1日～平成27年3月31日とする。

(注3) 「工事成績評定点の平均値」は、小数点以下第3位を切り捨てて、小数点以下第2位とする。
「配点」についても、小数点以下第3位を切り捨てて、小数点以下第2位までとする。

(注4) 過去5年間に該当工事が無い場合は、65点とし評価は0点とする。

ただし、平成22年度、平成24年度及び平成26年度に格付けに変動があった入札参加者においては、以前の格付けランクに基づいた入力で受注し、平成22年4月1日～平成27年3月31日に完成・引渡が完了した奈良県県土マネジメント部発注工事(予定価格は、Aランク5千万円以上、Bランク2千万円以上、Cランク8百万円以上、D・Eランク5百万円以上に限る)の成績評定点の平均値により配点するものとする。

なお、平成24年6月1日以降に公告され平成27年3月31日までに完成・引渡が完了した、予定価格がAランクは3千万円以上、Bランクは1千5百万円以上、Cランクは5百万円以上の工事については、その成績評定点を評価の対象とする。

(注5) 一般土木工事等とは、舗装工事・橋梁上部工工事・水門工事・建築工事・設備工事(土木設備・建築設備・下水道設備)・建築一式工事を主たる工事とする「土木・建築一体発注工事」以外の全ての工事とする。

(注6) JVの場合は出資比率による加重平均で採点するものとし、加重平均した後に小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで計算するものとする。

(注7) 「同種工事」の実績要件は、当該工事の入札公告において「具体的な工種、数量等」を定めるものとする。
現場代理人としての施工経験において、「監理技術者の資格を有していた者」とは監理技術者資格者証の交付を受けた者とする。
配置予定技術者又は専任補助者(現場代理人)の実績において加点され落札した後、工事期間中にやむを得ず配置技術者又は専任補助者(現場代理人)を途中交代する場合は、同等以上の評価がなされる者を配置しなければ工事成績評定において10点減点とする。

(注8) 「特殊法人等」とは、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律第二条及び同施行令第一条の規定による法人、又は前身の組織及び団体を含む(当該事実が奈良県で確認できるものに限る)。
「公共法人」とは、法人税法第二条第五号に規定する別表第一に掲げる法人とする。

(注9) 加算点の合計が減点により0点を下回る場合は欠格とし、入札参加は認めないものとする。

(注10) 技術提案書の提出書類について、工事名・工事番号が適正でない場合、会社名が記載されていない場合、押印がない場合、提出期限までに提出されない場合、提出を求める様式について一部でも漏れ落ちがある場合、配置予定技術者(専任補助者を配置する場合、専任補助者を含む)の氏名が記載されていない場合は欠格とし、入札参加は認めないものとする。

(注11) 平成23年9月1日以降に発生した自然災害に起因して、災害協定に基づく奈良県建設業協会への要請により随意契約した工事並びに緊急維持業者、特定業者と随意契約した工事を除く。

(注12) 本店の所在地は、本工事の公告日時点での住所とする。